

●コンピュータ労働者に
ふさわしい賃金で、残
業を無くし、健康で文
化的な生活を。

●働く者が幸せになる平
和なコンピュータ社会
を。

こんぴゅうた

電 算 労

電算機関連労働組合協議会

〒110-0003

東京都台東区根岸3-25-6

タブレット根岸2階

TEL 03(5603)4570

FAX 03(5603)7265

URL <http://www.union-net.or.jp>

新年の「あいさつ」

「この国のゆくえは労働者が自ら決めよう！」

電算機関連労働組合協議会 議長 小林寛志

みなさん、明けましておめでとう
ございます。

毎年この時期には必ず言っている挨拶ですが、昨今は、本当に年があらたまっただけで「おめでたい」ものなのか、といった疑問を抱くようになりました。

人生を半世紀以上過ごしてきた私のような年代になると、年末にもらう「新年の挨拶をご遠慮させていただきます」という類の書状の数が増え、また内容が変化していくのが顕著ではないでしょうか。まだ学生の頃は、友人の祖父母が亡くなったとの知らせがほとんどでしたが、徐々に亡くなった人が両親になり、段々と自分と年代に近い人が対象となって来ます。誰しもが新年を心のそこから喜び祝っているものではないとあらためて実感します。

本来ならば、年頭に当たり、もっと景気の良い明るい話題をたくさん提供すべきなのでしょうが、昨年の後半に起きた様々な悲惨で陰湿な、

暗い事件・出来事が多すぎて、あまり浮かれることができない、と言った心境なのです。

春先4月25日のJR西日本の脱線転覆事故と12月25日のJR東日本の脱線転覆事故。皮肉なことに東西の鉄道会社の事故で始まり事故で締めくくられた年でもありました。せめて年末の明るい話題と期待された「有馬記念」では多くのファンの期待を見事に裏切った競走馬に対して

「勝ち馬がいつも勝つとは限らない」と言ったある人の言葉が印象的でし

た。

過去の莫大な財政の失政のツケを「小さな政府」と称して痛みを与える構造改革を断行し、「勝ち組」「負け組」という二極分化の社会を作った小泉内閣。細かな数字はあげませんが、年収三百万円以下の人や貯金ゼロの家庭が昨年に比べて大幅に増えているにもかかわらず、全国家庭の平均貯蓄額が千四百万円を越えているという現実。金持ちはより豊かに、金のない者はより貧しくといった構図ができてつづつあります。これは異常です。政治的にも大いに問題があり、本来ならば大学を卒業しても就職できない若者たちがもつと怒りの声を上げなければならぬのに、フリーターとかニートなどと呼ばれる大半の若者が昨年の衆議院選挙で自民党を支持したという現実。

これらは一体何が原因なのでしょう。

勿論、「活字マスメディア」が「映像マスメディア」に負けたという分析もあります。まさに「小泉マ

ジック」はテレビのワイドショー抜きには成立し得なかったかもしれせん。しかし本当にそうなのでしょうか。組織に属さない一般の市民は、ある意味では時の権力者に翻弄されてしまっています。いわゆるポピュリズムというものです。それでは誰ががんばるのでしょうか。

戦後の歴史を振り返れば分かるように、労働組合運動が活発で政治の世界で与野党が拮抗している時は、こんなにひどい貧富の差はなく、もっと弱者に優しい世の中であつたと記憶しています。組合の組織率が20%以下となつてしまいましたが一人では弱い者が、集まって作った労働組合をもう一度見直し、自分たちの生活は自分たちで守る気構えで、もっと日常的に政治や憲法に大いに関心を持ちながら主体的に係りあうことが大切な年になることでしょう。



新春スター訪問 深津絵里さん トリ年はメークアップで勝負

「何となく入ってしまったこの世界」だそうです。出演した「踊る大捜査線」などのヒットで不動の人気を獲得。いまや舞台、テレビドラマ、映画に欠かせない存在です。どんなにクセのある役もさりげなく、きつちりとこなしてしまう「控えめなテクニシャン」ともいわれ、演技の高さが評価されています。

今年のお正月に公開される映画「博士の愛した数式」（小泉堯史監督）では、寺尾聰演じる天才数学者を支えるシングルマザーの家政婦役を好演しています。

実は、母親役を演じるのはこの作品が初めて。「どうしたら主婦っぽく見えるんだろうと、考えてい

たらほかに気が回らなくなり、小泉監督に『何もしないでいい』とアドバイスを受けました」と役作りの苦労を語っています。

でも一方では、「子役の子が楽しくできるように、やさしい気持ちを心のために演技しました」と「母親」らしい気遣いも。

もともと、映画で見た手際のいい料理場面については、「多くの方に協力していただきました。それらしく見てもらえてうれしいです。実は自分では料理はしないので・・・」と照れ笑い。

素敵な笑顔の演技が観る人の心をうきうきさせてくれる、そんな深津さんの活躍に期待したい2006年です。



2005年

電算労10大(+α)

PUC分会

角井記

【コールセンターの開設と契約社員・パートの採用】

東京23区を対象にした水道局のコールセンターの開設。PUCにとって新たな事業領域であり、今後も多摩地域に拡大を予定。契約社員などの雇用形態の社員も新たに採用。職場への影響を注視。

CICOM労組

西澤記

【給与水準下がる】

2期連続で赤字決算となつてしまった当社は今年、会計年度が4月から翌年3月に変更になった。

1月から3月で何とか黒字を計上したものの、各種手当を「世間並み」にしたい、また、経営状況が厳しい状況にあるとのことから、残業手当の削減、社会保険料手当ての削減が行われ組合員の給与水準が下げられてしまった。

【フレックスタイム制凍結継続】

厳しい経営状況に全社一丸となつて対応する必要があるとのことから、一部の部署を除いたフレックスタイム制凍結が依然として継続されている。

【全共連の子会社2社を吸収合併】
来年度から、当社を存続会社と

して全共連のシステム子会社2社を吸収合併し、新たなCICOMとなること決定した。

【「新人事制度」採用の準備】4、

これまでの職能資格制度から、行動と結果を求められる「新人事制度」を来年度会社は採用しようとしており、準備が進められている。

ソフトウェア技術支部

北野記

【忙しさが増し、ゆとり減少】

期間が短かったり小人数のプロジェクトが増え、殆どの仕事が客先常駐のため、組合員間のコミュニケーションが不足してしまい、活動が活発化しません。

【メンタル面の健康を害した組合員が多発】

将来有望な中堅で真面目で人達になつていきます。

NJK支部

田島記

【昨年を上回る回答を獲得】

NJK支部の2005年春闘は、会社業績4年連続下方修正という異状事態の中、定期昇給相当の賃上げの確保と、年間一時金(夏+冬)で昨年を上回る回答を獲得し

ました。今後も引き続き働きがいのある職場をめざし頑張ります！

東和システム支部

小番記

【組合員の小坂さんが急逝】
組合員の小坂さんが1月に急逝。

黙祷。社員の間に健康問題への関心高まる。

【春闘要求の実現】

①定期健康診断の充実実現、血清生化学検査項目が追加される
②トイレを洋式シャワートイレに改善
③管理職手当アップ

【毛塚書記不当解雇事件で3年目の闘い進行中】

①3月に東京都労働委員会で結審
②4月～12月、東京都労働委員会で和解に向けた調査進行
③早期解決に向け、東和システム経営へ要請行動を強化

ソフトウェアセクション

横山記

【企画部発足】

SSでは今までの4つの専門部に加えて新専門部「企画部」を今期しました。

企画部の仕事は組合で生涯を通して働ける環境、仕事を作ること、を目的とし、新たなビジネスモデルを研究・開発し、新規事業を立ち上げます。

労供労組協 厚生労働省要請行う

情報処理業界における重大違反事例
「構造的多重派遣」「一人請負派遣」の適正化に向けて



去る11月21日、午後3時より労供労組協において厚生労働省への要請を行いました。厚生労働省からは職業安定局需給調整事業課の坂口卓課長をはじめ8名、労供労組協からは伊藤彰信議長、横山南人事務局長など役員6名が参加しました。

一昨年東京労働曲が10月、11月に実施した「派遣・業務請負適正化キャンペーン」において、情報処理業界における重大違反事例と

して①構造的な多重派遣、②一人請負派遣の2つがある、という実施結果が報告されました。

今回の厚生労働省要請では、「1. 非正規労働者の労働環境に関する懇談会（仮称）の設置について」、「2. 日雇雇用保険の充実について」、そして右記を踏まえて、「3. 情報処理業界における多重派遣の禁止措置について」の3点でした。

要請の「3. 情報処理業界における多重派遣の禁止措置について」

については東京労働局で昨年の10月と11月の2回、情報処理産業の企業向けに適正な派遣のセミナーを開いている、②については行政処分にするか刑事告発するかはそのときの事例によって判断する、との事でした。③についてはいろいろ話が出ましたが、一朝一夕に解決できるものではない、ということでも認識が一致しました。

厚生労働省もソフト業界にお



る多重派遣は認識しているようです。その指導の下、東京労働局で「派遣・業務請負適正化キャンペーン」が実施されています。このキャンペーンは昨年10月、11月に行われており、その結果が出るのを待って今年、電算労で東京労働局の担当者に来ていただき学習会を行う予定です。その学習会での話も参考にして、経済産業省に要請に行く予定です。

学習会には多くの皆さんに参加してもらいたいと思います。

要 請 書 （前文、および要請文の一部を省略）

1. 「非正規労働者の労働環境に関する懇談会（仮称）」の設置について

登録型派遣労働者や日々雇い労働者等は年々増加しており、これら労働者の労働環境の改善は急務です。関係事業場の法にもとづく適正な運用を確立するため、行政、事業主、労働者で構成する「非正規労働者の労働環境に関する懇談会（仮称）」を設置し、以下の課題に取り組むこと。

①労働関係法規が雇用形態ごとにどのように適用されるのか整理すること。

②労働関係法規の適用ならびに運用が雇用形態ごとにどのようにおこなわれているか実態を調査すること。

③労働関係法規を遵守するようにするためにどのような改善・指導等がなされるべきか検討すること。

2. 日雇雇用保険の充実について

①労供事業で働く者の失業認定について、その方法の改善策を検討すること。

②供給・派遣で就労する労働者について日雇雇用保険を適用すること。

③一般被保険者のみならず、日雇労働被保険者にも教育訓練給付制度を適用すること。

3. 情報処理業界における多重派遣の禁止措置について

東京都が昨秋実施した「派遣・業務請負適正化キャンペーン」の実施結果によると情報処理業界における多重派遣の実態が明らかになっています。その中で重大違反事例として①構造的な多重派遣、②一人請負派遣のふたつをあげ、ともに職業安定法第44条違反と指摘しています。

このような多重派遣を禁止するための措置をおこなうこと。

①多重派遣は違法であることを情報処理業界に通知すること。

②悪質な事業者を職業安定法第44条違反で刑事告発すること。

③情報処理業界の多重派遣を禁止するための仕組みを確立すること。

スタッフフォーラム新体制発足

昨年11月25日に企業組合スタッフフォーラム第6回通常総会が開催されました。

企業組合スタッフフォーラム（以下SFFと記す）は1999年12月に職安方が改正され、労供事業を行う組合が事業主体性を確保するための手段として、供給と派遣を組合わせた仕組みができるようになって作った、初めての派遣事業体です。SFFは労供労組協の加盟組合の協力の下、電算労と東京ユニオンが中心になって作りました。

以来、OAスタッフを中心に派遣を行ってききましたが、3年前からは音楽家（演奏家および講師）の派遣を行っています。また、企業組合コンピュータユニオンが開発、販売する労組会計ソフトとともにそのオペレータを派遣する、会計スタッフ派遣も行っています。発足当初から小林寛志理事長（電算労議長）で運営してきましたが、昨年の通常総会で任期満了で降り、新理事長として高井晃さん（全国コミュニケーション事務局長）が就任しました。また、理事の内田時子さん、荻野安子さ

んも降り、新たに理事として企業組合コンピュータユニオンの理事でもある吉原英文さん、そして音楽ユニオン関東地方本部委員長の篠原毅さんが就任し、新体制で第7期が発足しました。

SFFの今期の課題は単年度黒字そして、コンピュータ・ユニオンの支部としての組合活動の実践です。

SFFは派遣労働者のための派遣事業体として、派遣労働者の組織化に向けて活動します。電算労の皆さんにもSFFの存在をぜひ知っていただき、ご協力ください。



電算労旗開きのお知らせ

新年を展望しての旗開き、ふるってご参加ください

日時：2006年1月6日（金）、19:00より

場所：タブレット根岸5F会議室

クイズちがいは7つ

★ 締め切りは 2 月 1 5 日 ★

高確率で図書券が当たります♪♪

ご応募お待ちしております！！



右と左の絵には7カ所のちがいがあります。どこでしょう？ 正解者10名の方に図書券1000円分をさしあげます。ご応募お待ちしております



前回の正解：①万国旗 ②スピーカーの形 ③得点のボードの点数
④ダルマ ⑤ストラップ ⑥短パン ⑦男の子の袖

当選者：渡辺友和・榎本周太・北原達也・永田真紀・菅野浩子
藤岡慶成・及川幸一（CCOM）寺寄祐樹（NCS）
内潟知恵（PUC）清水雅子（ソフ技） 敬称略
♪ご当選おめでとうございます♪

宛 先：〒110-0003

台東区根岸3-25-6

タブレット根岸2F

こんぴゅうた クイズ係

E-mail: quiz@union-net.or.jp